指定管理者市民評価委員会　　平成26年5月30日

施　設　名	日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ
指定管理者名	社会福祉法人　雲柱社
指定期間	平成22年4月1日　から　平成27年3月31日

A評価

審査項目	評価事項	①	②	③	④
		評価点			
公の施設について市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されたか ＜15点＞	①市民の平等な利用が確保されている。 ②誰でも利用できる配慮はなされている。 ③利用者の意見を反映する仕組みがある。 ④施設の特性を生かしたサービスが提案されている。 ⑤事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられる。 評価点×3倍	15	12	15	15
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有していること ＜10点＞	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できている。 ②防災・防犯時の危機管理対応策は適切である。 ③日常的な安全管理が十分に考えられている。 ④専門的な知識･技能･設備等は確保されている。 ⑤労働法令の遵守や雇用･労働条件への適切な配慮がされている。 評価点×2倍	8	8	10	8
その他 ＜5点＞	①個人情報を保護するための体制が整っている。 ②環境への配慮がなされている。	3	4	5	3
A評価計		26	24	30	26

B評価

審査項目	評価事項	①	②	③	④
		評価点			
地域･関係機関･ボランティア等と連携することで、地域の拠点となっているか。 ＜5点＞	他の児童館･保育園･幼稚園･小中学校･高校･子ども家庭支援センター･地域の民生児童委員等との連携を積極的に行い、子どもたちを取り巻くさまざまな情報の交換や共有を図っている。 地域の特性、地域住民の特技、相互の力を生かしたサービスを提供している。 地域ボランティアを育成するとともに、その人材を活用した事業を展開している。	5	5	5	5
苦情対応及び意見の集約ができたか ＜5点＞	来館者、周辺住民とのトラブルを未然に防ぐため、日常からの丁寧なコミュニケーションの構築を実践している。 来館者とのコミュニケーションやモニタリング等を行い、生の声を聞き取って要望を常に把握し、運営とプログラム作りに活かしている。 苦情に対しては、利用者の立場に立ち、誠意ある解決を図っている。	3	4	4	5
様々な子どもたちを受け入れ、安全で安心する居場所となっているか ＜10点＞	利用者の多様なニーズを掘り起こして、幅広いプログラムを用意することで、来館者の間口を広げ、来館者数を増加させている。 不登校の傾向にある子ども達も気軽に利用できるよう、柔軟に対応している。また、ノーマライゼーションの展開の場とし、子どもたちの障害者への理解を活動の中で深めている。 中高生の「たむろする場所」を保証し、思春期の不安定な心身を受けとめ、より居心地よく過ごせる居場所をつくっている。 評価点×2倍	8	8	10	10
職員のスキルアップに努め、良い職場環境を保っているか ＜5点＞	安定したサービスを提供するための職員体制の充実、職員研修によるレベルアップ、意識改革を行っている。 児童館を利用する全ての人が気軽に気持ちよく利用していただくために、職員間のコミュニケーションを高め、良い雰囲気作りに努めている。 来館者の安全と安心を確保するために、施設･設備の安全チェックを定期的に実施し、事故･ケガ等の防止に努めるとともに、衛生管理を徹底している。	3	4	5	4
子育て課と連携し、市の施策に沿った運営をしているか ＜5点＞	市の施策が反映できる事業展開を行っている。 市の施策に沿った上で、指定管理者の権限の範囲内による自由な発信と運営をしている。 他の児童館と常に連携し、共同による事業を展開している。	4	4	5	5
B評価計		23	25	29	29

評価基準

高い･････5	優れている
やや高い･4	概ね満たされ一部に優れたところがある
普････････3	概ねできている
やや低い･2	一部に課題がある
低い･････1	課題も多く改善が必要である
低い･････1	課題も多く改善が必要である